

第4回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。



たばたはるみ 議員
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

地域の稼ぐ力を高める取組 官民一体の経済発展を図る

◎ 人口減少や担い手不足により、地域の付加価値創出や経済の循環規模は十分とは言えない。市として新たに収益を生み、地域全体で稼ぐ力を高め、いくことが課題と思うが、現在の取組内容を伺う。

◎ 地元で生み出せる付加価値や地域経済の循環を高める取組として、移住促進やスポーツ等の交流人口拡大、ICTを活用した農業への支援、企業誘致の推進、宮崎県都市との物産品相互取扱に関する協定、市民の健康づくりや空き家対策に係る民間企業との連携協定、台湾・ベトナムとの交流など多様な施策を進

めています。これらを通じて、官民一体となった地域経済の発展に取り組んでいます。

持・活性化のため、不可欠な状況にある。多様な市民が参加しやすいまちづくりを進めるための考えを伺う。

◎ 市民参加のワークショップやアンケート、パブリックコメントなどを通じて多様な視点を取り入れていますが、働く世代や子育て世代など、時

深川市公式LINE
はじめました：
市HP



中高生が参加したタウンミーティングの様子



あきら 議員
新田 旺 議員
「民主クラブ」

返礼品拡充と今後の見込み 新たな返礼品開発に努める

◎ 昨年度のふるさと納税は非常に好調で、着実に寄附額を伸ばしている。今後は、寄附者にとって魅力的で、地域にも確かな効果が見える取組が必要と思うが、返礼品の拡充状況と今後の見込みを伺う。

◎ 現在、ふるさと納税サイトには約100種類

の返礼品を掲載しており、今年度は約20点を新たに追加しました。今後の見込みについては、市内事業者から既に問合せを受けている返礼品もあり、速やかに掲載できるように準備を進めます。あわせて、新たな返礼品の発掘や開発にも力を入れ、深川市の魅力を広く

発信できるよう、引き続き返礼品の確保に努め、ふるさと納税を推進していきます。

◎ 令和7年10月に開催された農道音楽祭は、大変な賑わいを見せ、会場外でも来街者消費による経済効果が波及した。継続開催のため、団体や企業、自治体の連携が必要と考えるが、市の関わり方を伺う。

ふるさと納税は
こちら：市HP



ふるさと納税PRチラシ



まつもとまさひろ 議員
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

小中一貫校導入の考えは 多様な教育形態を研究する

◎ 全国的な少子化で児童生徒数が減少し、学校の小規模化が急速に進んでいる。子供の学びと成長を支えるため、適正な教育環境の整備が求められるが、将来を見据えた小中一貫校の導入について伺う。

◎ 本市では、深川市学校配置基本方針等に基づ

き学校配置しています。この方針等では小中一貫教育に触れていないため、現時点で義務教育学校などの小中一貫校に関する考えは持っていないが、小中連携は大変重要であることから、各中学校区で様々な取組を進めています。今後子供たちにとってよりよい教育環境

となるよう、多様な教育形態を視野に引き続き研究していきます。

◎ がん治療による脱毛は心理的負担となり、高額な医療用ウィッグ等を購入できず悩む患者もいる。外見の変化は生活や

深川市学校配置
基本方針



医療用ウィッグのイメージ



伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

国の物価高騰対策について 国方針に基づき事業を検討

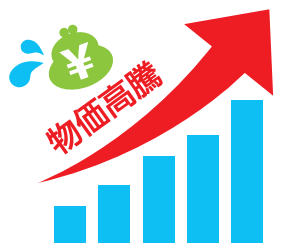
◎ 物価高に直面する家計や企業を支援するための重点支援地方交付金の活用について、地域の実情に即した対応が求められている。本市の考えと市民への迅速な支援に向けた今後のスケジュールを伺う。

生活者や事業者を支援するため、重点支援地方交付金の拡充方針を閣議決定しました。現時点では具体的な金額が示されていませんが、国の通知を踏まえ、施策の優先順位を考慮し、生活者や事業者の負担軽減につながる事業を検討します。また、国は年内の予算化を目指す。

◎ 社会情勢が変化すると健全な財政運営に必要となる条例の制定が必要だと思いが、市の考えを伺う。

◎ 本市は、財政事項の公表に関する条例に基づき、年2回、広報紙で財政状況を公表しています。明文化された財政運営ルールはありませんが、地方債発行額を償還額以下に抑えるなど一定の規律を維持しています。今後の厳しい財政状況を踏まえ、基本方針や中期の見通しに基づく計画的対応が必要と考えており、他市の事例を参考に、条例制定には至らないものの、その方向性を踏まえた仕組みづくりを検討していきます。

令和7年総合経済対策：首相官邸HP



山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

有害鳥獣支援員について 協力隊員の定着を支援する

◎ 現在、有害鳥獣対策支援員として、地域おこし協力隊員2人が任用されており、有害鳥獣の駆除活動で、すばらしい成果を上げている。3年間の任期満了後のサポートについて、市の考えを伺う。

員2人を有害鳥獣対策支援員として任用し、エゾシカやヒグマなどの捕獲、わなの見回り、住民への注意喚起などに精力的に取り組む、農作物被害の防止に大きく貢献しています。本市としては、任期満了後も市内に定住し、対策の中核的な役割を担って欲しいと考えています。

◎ このため、今後の希望や意向を丁寧に向い、関係機関と連携して定着に向け、総合的に支援していく考えです。

◎ 増加する熊被害への対策について
気象変動により木の实などが減少し、熊のエサが不足する状態が数年続いているため、今後の希望や意向を丁寧に向い、関係機関と連携して定着に向け、総合的に支援していく考えです。

◎ 近年、木の実不足の影響でヒグマの人里への出没が増え、本市でも目撃情報が増加しています。市では警察や猟友会と連携し、現地確認や注意喚起などを行っています。また、猟友会の担い手減少などを踏まえ、新たな対策も必要と考えています。春期管理捕獲や撃退装置の活用など他市の事例を参考にしつつ、地域特性を踏まえ、市民の安全確保を最優先に効果的な対策を研究します。

ヒグマの目撃情報：市HP



熊出没注意看板



まつばら やすこ 議員
「日本共産党」

窓口で字幕表示システムを 窓口でのニーズを調査する

◎ 聴覚障がい者や加齢性難聴者に対する支援として、言葉を瞬時に文字へ変換する字幕表示システムが各分野で導入されている。市庁舎の窓口での字幕表示システムの導入について、市の考えを伺う。

◎ 聴覚障がい者や加齢性難聴者に対する支援として、言葉を瞬時に文字へ変換する字幕表示システムが各分野で導入されている。市庁舎の窓口での字幕表示システムの導入について、市の考えを伺う。

◎ 緊急銃猟に対する対応マニュアルを
令和7年9月から緊急銃猟制度が施行され、市町村は一定の技術を持つ狩猟者へ捕獲業務を委託できるようになった。危険を伴う捕獲・駆除業務に対し、市の対応マニュアルを作成する考えを伺う。

◎ 緊急銃猟に対する対応マニュアルを
令和7年9月から緊急銃猟制度が施行され、市町村は一定の技術を持つ狩猟者へ捕獲業務を委託できるようになった。危険を伴う捕獲・駆除業務に対し、市の対応マニュアルを作成する考えを伺う。

緊急銃猟制度：環境省HP



安全確保された緊急銃猟のイメージ

インでは、通報対応や住民への注意喚起、交通規制、避難など安全確保の手順をはじめ、緊急銃猟の条件、委託、損失補償などを盛り込んだマニュアル作成が求められていることから、本市でも警察や猟友会と協議しながら慎重に整備を進めています。

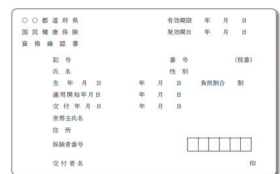


さ さ き かずお
佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

保険証廃止と資格 確認書の自動送付

◎ 健康保険証の廃止に伴い、国民健康保険加入者のうち、マイナ保険証を持たない方へ健康保険証に代わる資格確認書を自動送付したことを確認したい。また、他の自治体も同様に自動送付して

資格確認書及び資格情報通知書の交付について：市HP



資格確認書のイメージ

いるか。
A 国民健康保険の被保険者については、従来の健康保険証の有効期限が切れる前の令和7年7月に、マイナ保険証を所持していない方へ申請不要で自動的に資格確認書を送付しています。また、後期高齢者医療制度の被保険者については、暫定

的な措置として、マイナ保険証の有無にかかわらず、令和8年7月31日まで有効となる資格確認書を交付しています。他の自治体での資格確認書の送付の取扱いについては、詳細を把握していませんが、国の方針に基づき運用されていると考えています。

◎ 令和7年10月に大規模災害を想定し実施された防災総合訓練では、関係機関の連携が確認された点と聞くが、計画どおり円滑に進められたのか。
あわせて、冬期における訓練計画に対する市の考えを伺う。
A 今回8年ぶりに開催した防災総合訓練は、関

係機関との連携を重視し、令和6年4月の防災会議以降、協力依頼と協議を重ねてきました。当日はドローンによる被害状況調査、応急救護、陸上自衛隊との避難者輸送など、各機関と連携した訓練を実施しました。今後は実践的な避難訓練や市民周知を重視した訓練、さら

に冬期災害を想定した訓練の実施に向け研究を進め、関係機関との関係構築に努めます。
JR留萌本線の廃線後について
◎ JR留萌本線廃線後、深川・石狩沼田間の代替交通に加え、北一已駅周辺住民へのタクシー助成

が検討されているが、その対象範囲はどこか。また、JR北海道と市2町で締結した覚書の内容を伺う。
A 深川・石狩沼田間の代替交通は、日中は空知中央バスが沼田線を継続運行し、朝夕は道北バスと明日萌観光バスが新たに運行を担います。これ

に伴い、JR北海道は18年間で自治体ごとに3億6400万円の運行経費と、まちづくりに対し7000万円の支援を確約し、令和7年9月30日に覚書を締結しました。また、北一已駅周辺住民にはタクシー助成を検討しており、対象範囲などを今後調整していきます。



きたむら かおる
北村 薫 議員
「公政クラブ」

防災総合訓練実施について 冬期災害の訓練実施を研究

防災に関する協定：市HP



関係機関との連携を重視した防災総合訓練の様子



おもえ あきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

障がい者のキャリア支援は 関係機関と連携し雇用促進

◎ 障がい者雇用は、雇用率を上げる段階からキャリア形成やスキルアップを支える段階へ移行している。行政として、現代の労働市場で求められるスキルを学べる環境の整備や取組を行っているか伺う。
A IT・デジタルスキル習得の環境整備は、障

がい者の就労機会の拡大と職場定着に重要と認識しています。市として教育訓練は行っていないが、障がい者のキャリアアップや市内企業の法定雇用率の向上が図られるよう、国や北海道が実施する公共職業訓練の情報提供や支援制度の周知を進めているほか、農福連

携懇談会を通じて農作業スキルの習得機会を設けています。今後もハローワークなど関係機関と連携しながら、障がい者の雇用促進に取り組んでいきます。
複合施設に投票所を設置する考えは
◎ 投票所が遠い、行く

手段が少ないという声が多く寄せられている。買物のついでに立ち寄れる利点を踏まえ、現在、町なかに建設中の複合施設に投票所及び期日前投票所を設置する考えについて伺う。
A 期日前投票所の設置については、投票管理者や立会人などの人的要件

公共職業訓練（障がいのあるかた）：市HP



複合施設内観イメージ

に課題があることから、当面は設置が困難と考えています。一方、選挙当日の投票所設置については、現在、第一投票所として使用している中央公民館が、令和8年秋に供用廃止予定であるため、新たな第一投票所の候補として、複合施設の活用を検討しています。

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■田畑 陽美 議員

- ・ふかがわシードルのさらなるPR活動について
- ・市職員の副業解禁後の状況と今後の考えについて

■新田 旺 議員

- ・防犯カメラ設置支援による安心・安全なまちづくりについて

■松本 雅祐 議員

- ・森林環境譲与税を活用したグリーンパーク21の修繕について
- ・事業者が設置する太陽光発電設備について

■伊藤美恵子 議員

- ・市立病院看護師の働き方改革について
- ・市役所の窓口開庁時間の変更について

■山本 時雄 議員

- ・空き家流通対策について
- ・深川産バレイショについて

■松原やす子 議員

- ・コンサルタントやアドバイザー頼みだけでない、現場発信の工夫を

■大前 昭代 議員

- ・居住サポート住宅について
- ・ゴミの分別について

■北村 薫 議員

- ・夏まつりと冬のイベントについて
- ・市内ハイヤー業者の営業時間短縮について

■佐々木一夫 議員

- ・市立病院職員処分問題の虚偽答弁及び調査委員会報告書の信憑性・立証性について
- ・高額療養費制度とOTC類似薬の保険適用除外及び高齢者医療負担の動きと今後の影響について
- ・市営住宅単身高齢入居者の問題について
- ・新聞報道された空き家解体行政代執行について
- ・下水道汚泥処理費について
- ・吉住公民館の廃止について

■有働 正夫 議員

- ・マイナ保険証の普及活動について



う どうまさ お
有働正夫 議員
「公政クラブ」

雨竜川の氾濫対策について 治水対策の財源確保を要望

◎ 雨竜川では3年連続で大雨による浸水被害が発生している。市として、川岸の木の伐採や河床掘削などの対策に係る予算確保を河川事務所や北海道に働きかけるなど、今後の氾濫対策の対応について伺う。

◎ 雨竜川では3年連続で大雨による浸水被害が発生している。市として、川岸の木の伐採や河床掘削などの対策に係る予算確保を河川事務所や北海道に働きかけるなど、今後の氾濫対策の対応について伺う。

◎ 雨竜川治水促進期成会を通じて国に対し強く要望していきます。

◎ 農業現場の担い手確保対策について

◎ 農業現場の担い手確保対策について

農業自衛隊HP



令和7年8月の大雨による雨竜川の浸水被害